



- ICNはソーシャルメディアキャンペーン「#NursesforPeace」を開始
- ICN、EFN、EFNNMAは保健医療の保護と敵対行為の停止を要求

国際看護師協会（ICN）は昨日、欧州の看護師リーダーとともに特別ウェビナーを開催し、ウクライナの危機について看護師団体を集めて議論した。ウクライナの看護師リーダー数名は、病院の地下室から会議に参加した。参加者は、世界中の看護師からの団結のメッセージとして、ウクライナの看護師と人々への連帯と支援を表明した。

会議後、ICN、ヨーロッパ看護師協会連合（EFN）、各国看護師・助産師協会欧州フォーラム（EFNNMA）は、ロシアのウクライナ侵攻、保健医療サービスの寸断、保健医療施設や罪のない市民への攻撃を強く非難する[共同声明](#)を発表した。ICN、EFN、EFNNMAは、即時停戦、すべての敵対行為の停止、そして平和を確保するためのさらなる外交交渉の開始を求めている。

ウクライナ、ハンガリー、モルドバ、ポーランド、ルーマニア、スロバキアの各国看護師協会と、ICN、EFN、EFNNMAのリーダーが参集し、「*#NursesforPeace - Ukraine and the nursing response*」と題したウェビナーを開催した。会議では、情報を共有し、看護師やその他の保健医療従事者、および施設や物資を保護し、人道支援へのアクセスを確保するための行動を決定した。

ICNは共同声明に加え、世界中の看護師がウクライナの看護師と連帯するために、#NursesforPeaceというソーシャルメディアキャンペーンを開始した。バナー、ソーシャルメディア・タイル、その他のキャンペーン資料は、[こちらから](#)ダウンロード可能。ICNはキャンペーン支援者に、バナーを掲げた写真を#NursesforPeaceのタグをつけてソーシャルメディアに投稿するよう呼びかけている。

支援のために何ができるか？

ICN・EFN・EFNNMA共同声明に[署名する](#)

#NursesforPeaceの画像等を[ダウンロードし](#)、ソーシャルメディアでシェアして応援する

ICN人道支援基金に[寄付をする](#)

ICNパメラ・シプリアーノ会長は、次のように発言している。

「ICN、EFN、EFNNMAは、ウクライナにおける敵対行為の停止と、この侵略の終結に向けた外交的解決のための協調的推進をさらに訴えています。世界の2,800万人の看護師がウクライナの看護師と連帯し、すでに未知数の死者を出し、非常に多くの人々が避難しているこの侵略の終結を求めて、声をひとつにしています。これ以上の命を失うことがあってはなりません。私たちは、#NursesforPeaceの旗印のもと、看護師が再び中心的な指導的役割を果たしているウクライナとその国境を接する国々における人道的努力を、あらゆる手段を用いて支援し続けます。私たちは、一見不可能に見える状況下で、患者を保護しケアするために現実的な解決策を見出そうと努力している、勇気あるウクライナや近隣諸国の看護師に大きな恩義を感じています。ウェビナーで聞いた現場からの話は、屈辱的で畏怖の念を抱かせるものでした。」

ICNハワード・カットン事務局長は、ウクライナの看護師たちの驚くべき証言を受け、「健康と平和は切り離すことができません。グローバルな看護コミュニティとして、私たちの価値観は健康を促進し、ケアと思いやりを提供し、癒しを通じて和解をもたらすことです。パンデミックはまだ収束していませんが、私たちの健康と人間性を守る看護師の揺るぎない勇気と強さを、世界中の人々が再び目の当たりにしているのです。私たちはすべての人に、ウクライナの看護師との連帯を示し、#NursesforPeaceを支援することを呼びかけます」と述べている。

看護師の証言

ウクライナの看護学校の元校長で、ICNと連携してウクライナの看護師との連絡に当たっているナターリヤ・リシチェンコ氏が、通話に参加したウクライナの看護師たちの通訳を行なった。彼女は、ウクライナの看護師の状況について、その多くが患者をケアするために勤務先の病院で生活していると語った。「ウクライナの看護師は、多くの心理社会的サポートと感情的なサポートを必要としています。ウクライナの看護師にとって、状況は非常に困難で、危険で、トラウマになりかねないものですが、彼らはケアに全力を注いでいます。国際的な看護コミュニティが支援していることを知ることはとても重要で、この信じられないほど困難な時期に彼らを支えてくれます。」

ウクライナ看護協会のテチャナ・チェルニシェンコ会長がキエフからウェビナーに参加した。現在進行中の紛争について、多くの都市が戦火に見舞われ、多くの市民が負傷したり死亡したりしていると語った。「地下鉄の駅に避難している人もいますし、住居だけでなく病院にも爆弾が落ちています。地下鉄のシェルターや病院の地下室で赤ちゃんが生まれたこともあります。」彼女は、多くのウクライナ難民を受け入れ、世話をしてくれている国境を接する国々に感謝した。

キエフ出身のシニア看護師アネリヤ氏も、病院で生活を送る看護師の一人である。「私たちはキエフで攻撃が増えるのを目の当たりにし、多数の負傷者に対応できるよう備えています。特に心配なのは、止血帯をはじめとする基本的な医療物資の不足が深刻化していることです。私たちは民間人に応急処置のトレーニングも行っていますが、より多くの物資がどうしても必要なのです。」

ウクライナの看護師リーダーであるハリナ氏は、避難所や病院で夜を過ごしている全国の看護師たちからメッセージを受け取ったという。「彼らは自分の子供や孫を近隣諸国に送っており、こうした支援にとっても感謝しています。」

テルノピリの看護師リーダーのスヴィトラナ氏は、看護師はすべて自分たちでやってきたと言う。テルノピリはウクライナの西部にあるため、キエフやハリコフに比べると状況は落ち着いている。「学生やボランティアとともに配給センターを設置し、ポーランドをはじめとする各国からサプライチェーンの供給を受けています。受け取ったものはすべて、必要としている都市に分配しています。」

ウクライナの看護師たちは、心理社会的なサポートと、止血帯などの創傷ケア用品、薬や抗生物質、使い捨てのスクラブなどの医療用品を必要としている。ウクライナの看護師を支援するICN人道基金への寄付は、[こちらから](#)申込み可能。

ウクライナに隣接する各国看護師協会の代表者たちが、難民の状況やウクライナへの物資の搬入をどのように支援しているかについて話した。スロバキア、ポーランド、ルーマニア、モルドバの看護師リーダーたちは、国境を越えて押し寄せる難民を助けるために「個人からの連帯と支援の大きな波」について語った。女性や子どもを中心に、人々が殺到しており、彼らは何日もかけて到着し、疲れ、寒さ、空腹、そしてショックを受けていると説明した。多くの看護師が難民を自宅に受け入れているが、看護師リーダーたちは、個人でウクライナに物資を届けようとするのは危険だと警告し、支援を希望する場合は公的なルートを利用するよう勧めた。ICNの[人道基金](#)は、看護師がウクライナの看護師に経済的支援を提供する手段の一つである。

EFNのエリザベス・アダムス会長は、会議を主催したICNの素晴らしいリーダーシップに感謝し、「ウクライナのすべての看護師に、心からの哀悼と思いを捧げます。私たちは、あなた方が行っている素晴らしい活動を知っており、あらゆる形であなた方をサポートできる機会を模索しています。私たちは今日、詳細に、今後のより平和的な解決に向けた皆さんの嘆願を聴きました。あなた方はEFNの全面的な支持を受けており、私たちはすべての看護師と協力してあなた方を支援し続けます。近隣諸国の看護師の素晴らしい活動にも心から感謝します。」と述べている。

EFNNMAのメルヴィ・ヨネキン副会長も、ウクライナのすべての看護師・助産師を支援するために連帯を表明した。「私たちは団結しなければなりません。私たちは自分たちの組織の中で影響力を高め、健康危機管理の国際機関の専門家と協力し、すべての看護師と助産師のために実践的な心理社会的支援を行う必要があります」と、協力の重要性を強調した。

ICNは、今後も現地の各国看護師協会と連携し、自国を追われた人々を含むウクライナの人々への支援を続けていく。

ウクライナの看護師と人々への支援を表明するために、ICN-EFN-EFNNMAの共同声明に[署名](#)し、[寄付](#)をし、ソーシャルメディアキャンペーン[#NursesforPeace](#)へご参加いただきたい。